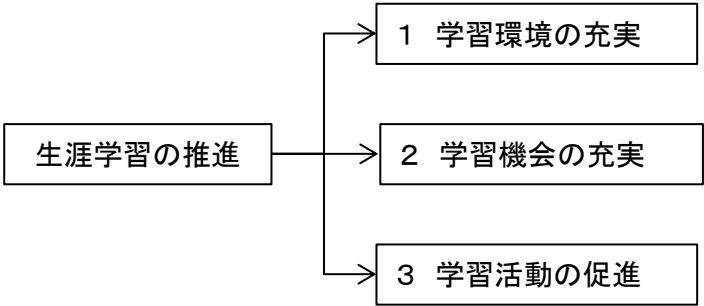


平成28年度大船渡市教育委員会の事務の執行状況等

施策 1 生涯学習の推進



進捗度	状 況	成果指標	今後の方向性	
A	概ね計画どおり進捗している	当初見込み以上	○	現状維持
B	一部に進捗の遅れが見られる	当初見込みの7割前後	●	改革改善
C	全体的に進捗の遅れが明らかである	当初見込みの5割以下		

基本事業 1 学習環境の充実

主要事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	H27実績	H28実績	H32目標		
カメラホール運営管理事業(指定管理)	市民 カメラホール	安全・快適に学習活動が行える。	施設利用状況の集計 使用料の集計・納入 設備修繕等の維持管理業務 指定管理者への業務委託 等	①カメラホール利用者数 ②施設不具合件数 ③施設不具合対応率	①人 ②件 ③%	①31,726 ②1 ③100	①27,861 ②8 ③100	①28,000 ②1 ③100	A 概ね運営管理は適切。 利用者が前年度比12%減だが、H32年度目標値との対比では、0.5%減に止まった。	○ 盛地区公民館の利用と一般利用との調整が必要。
三陸公民館施設管理・運営事業(指定管理)	市民 三陸公民館	安全・快適に学習活動が行える。	〃	①三陸公民館利用者数 ②施設不具合件数 ③施設不具合対応率	①人 ②件 ③%	①9,984 ②0 ③-	①12,086 ②0 ③-	①13,900 ②0 ③-	A 貸館業務だけながら、順調な利用状況。	● 市芸術文化協会事務局の移設で、協会所属団体等の利用促進を図る。
博物館展示事業	市民 碁石海岸を訪れる観光客	気仙地域の自然と文化について学ぶことができる。	常設展示の公開 展示資料、展示設備の維持管理 企画展示、特別陳列の実施	博物館利用者数	人	9,871	9,589	9,600	A 関係機関・団体等の支援もいただきながら、多彩な展示に努め、ほぼH32年度目標値に近い入館者数を確保。	○ 今後も、可能な限り関係機関・団体等の支援をいただきながら、より魅力的な展示に努めていく。

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H27実績	H28実績	H32目標	
学習環境の充実	市民 生涯学習施設	学習環境、活動の場が整っている。	①「生涯学習のための施設が整備されている」と答えた市民の割合(市民意識調査) ②自主学習団体数(生涯学習課業務取得、社会教育施設利用団体から抽出)	①% ②団体	①18.5 ②106	①16.2 ②130	①20.0 ②150	A 生涯学習施設への満足度はやや低下したが、自主学習団体数がH27年度比で22.6%、24団体の増と伸びている。

基本事業 2 学習機会の充実

主要事務事業名	対象	意図	事業内容	成 果 指 標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				名 称	単位	H27実績	H28実績	H32目標		
生涯学習情報提供事業	市民	学習意欲を持つ学習活動しようと思う	生涯学習に関する情報(学習機会、学習グループ、実践者、社会教育施設等)の収集及び市民への周知 ・生涯学習いきいきカレンダーの編集・発行 ・生涯学習情報の市広報への掲載 ・市ホームページによる各種生涯学習情報の提供	①何か新たに生涯学習活動をやりたいと思う人の割合(市民意識調査)	①%	①42.8	①36.9	①38.0	A 生涯学習関連情報の提供が十分と感じる市民の割合が徐々に増えつつあり、事業の効果が出ていると感じる。	● 情報の速達性や入手しやすさ等を考慮し、より多様な情報媒体の活用を進める必要がある。
成人大学講座事業	20歳以上の市民	市民の学習要求を充足させる 学習活動で身につけた知識や経験を活かしてもらう 学習し続ける大切さを知ってもらう	7月から9月にかけて、全6回(中央公民館、博物館、図書館各2回)実施	①講座の受講者数 ②講座の年間延べ受講人数 ③成人の成人大学講座への受講率	①人 ②人 ③%	①74 ②268 ③0.23	①118 ②421 ③0.36	①100 ②320 ③0.37	A 講座の受講者数及び年間延受講者数ともに、H27年度比で約6割増。	● 受講者が固定化し、生産年齢人口の受講が少なく高齢化している現状に鑑み、より幅広い年代の市民が生涯学習に親しめるよう、実施方法を見直す。
博物館教育普及事業	市民	教育普及事業を通して、気仙地域の自然と文化について学ぶことができる	博物館資料や気仙地域の自然と文化の教育普及を図るイベント※の開催。 ※海辺の生物観察会、博物館講座、「チリメンモンスターをさがせ！4」、「おおふなとしぜん かわらばん2016」、「恐竜3Dぬりえ」等。	普及事業への参加者数	人	1,113	827	900	A 参加者数は、H27年度を下回ったが、大学等の関係機関のご協力もあり、魅力的なイベントを積極的に開催し、H32年度目標値に迫る実績をあげることができた。	○ 安定的な事業推進を図るため、専門職員の育成・確保に努めながら、引き続き、教育普及活動に取り組んでいく。



基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H27実績	H28実績	H32目標	
学習機会の充実	市民	①学習情報が容易に入手できる ②多様な生涯学習機会に恵まれている	①「生涯学習に関する情報が十分提供されている」と答えた市民の割合(市民意識調査) ②公民館講座延べ参加者数 ③博物館入館者数 ④市民芸術祭観覧者数	①% ②人 ③人 ④人	①21.8 ②5,827 ③9,871 ④7,619	①21.1 ②4,863 ③9,589 ④6,503	①45.0 ②7,400 ③9,500 ④13,000	B 生涯学習関連情報が十分提供されていると答えた市民の割合が約2割で、情報の提供方法に改善の余地あり。 公民館講座参加者数が減少傾向。内容や実施方法の見直しが必要。 市民芸術祭観覧者数が減少している。出展者の新規確保や開催方法の見直しが必要。

基本事業3 学習活動の促進

主要事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				名 称	単位	H27実績	H28実績	H32目標		
社会教育関係団体活動支援事業	社会教育関係団体	自主的な活動を充実、継続してもらう。	市地域婦人団体連絡協議会や市PTA連合会事業への協力、補助金の交付 大船渡ユネスコ協会への全面的な事務支援	主催事業数	事業	9	9	9	A それぞれの団体で当初計画した事業の実施にあたり、関係者と連絡を密に側面から支援した。	● 社会教育団体以外にも多様な市民活動団体が同種の事業を展開しており、現状の支援を継続する必然性が薄れてきている。他の支援施策との統合も含め、事業のあり方を見直す必要がある。
生涯学習リーダー養成事業	派遣事業への参加 児童生徒 リーダー研修への参加者	生涯学習活動などに主体的に取り組むリーダーとなる。	情報提供、参加者取りまとめ、参加支援、実績等取りまとめ	市民主体のまちづくり活動が活発であると思う人の割合（市民意識調査）	%	17.4	19.3	20.5	A 生涯学習活動のリーダー養成に係る研修には、積極的に派遣、また、参加促進を図っている。	● 本事業は、生涯学習というより、多様な市民活動のリーダーを育成する意味合いが強く、まちづくり担当部署と調整し、事業の統合など効率的な手法の検討が望まれる。
芸術文化活動支援事業	市民、芸術文化団体	・市民が創作活動を行う。 ・市民が創作活動に触れる。	市民芸術祭/社会教育指導員の配置	①市民芸術祭出品数 ②市民芸術祭出演者数 ③市民芸術祭参観者数	①点 ②人 ③人	①2,903 ②3,735 ③7,619	①3,087 ②3,226 ③6,503	①4,000 ②4,500 ③8,000	B 市民芸術祭への出品数が増えたものの、出演者数や参観者数が減少。	○ 市芸術文化協会に加盟していない団体や個人への支援に努めるなど、芸術文化に親しむ環境づくりに創意工夫する必要がある。



基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H27実績	H28実績	H32目標	
学習活動の促進	市民 芸術文化団体	活動の成果を発表する	①市民芸術祭出品数 ②市民芸術祭出演者数	①点 ②人	①2,903 ②3,735	①3,087 ②3,226	①4,000 ②4,500	A 日ごろの芸術文化活動の最大の発表機会である市民芸術祭については、出品数が平成27年度比6%増となったものの、出演者数は14%減となった。出演者数減少は、郷土芸能まつりの未実施と吟詠詩舞道祭の規模縮少が要因であり、他の部門への出演者数は増加傾向にある。

□総括

施策名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H27実績	H28実績	H32目標	
生涯学習の推進	市民	主体的に学ぶことを通じて自己実現を図る	①「日頃、何らかの学習活動に取り組んでいる」と答えた市民の割合（市民意識調査）	①％	①29.6	①32.4	①45.0	B 主体的に学習に取り組む市民が3割程度おり、増加傾向にある。一方、「学びの成果を発揮する機会が得られている」と感じている人は2割に満たないことから、学びの成果を地域社会で共有する手だてが必要である。
			②「日頃、学習活動に取り組んだ成果を活かしている」と答えた市民の割合（市民意識調査）	②％	②17.6	②12.5	②45.0	

＜課題＞

- ・生涯学習関連情報伝達に係るより効果的な広報のあり方に関する検討
- ・幅広い世代の関心を呼ぶ魅力的な学習プログラムの検討
- ・生涯学習とまちづくりの連動を実現する体制の整備
- ・広く芸術文化に親しむ機会の拡充